

STOP!

教会におけるハラスメント
防止のために

HARASSMENT!

はじめに

日本福音ルーテル教会 ハラスメント防止宣言

すべての人は、
神の似姿として命を与えられた
かけがえのない存在です。
そのひとりひとりの尊厳は、誰からも
侵害されたり傷つけられたり
することがあってはなりません。
日本福音ルーテル教会は、
人の尊厳を侵害したり傷つけたりする
あらゆるハラスメントを許さず、
その防止に取り組むことを宣言します。



ハラスメントとは

様々な場での人間関係の中で、相手から心理的・物理的な攻撃を受けたことにより、尊厳を侵害する行為をいいます。

①セクシュアル・ハラスメント(セクハラ)

性的な言動または固定的な性別役割の押しつけなどによって、肉体的、精神的な苦痛や困惑、不快感、不利益などを与えることです。

性的指向(※1)または性自認(※2)に対するハラスメントも「セクハラ」に該当します。「セクハラ」かどうかは、「セクハラのもりではなかった」といった行為者側の認識によるものではありません。

※1 = 性的指向: 人の恋愛・性愛が
いずれの性別を対象とするか
※2 = 性自認: 性別に関する自己意識



②パワー・ハラスメント(パワハラ)

職務上の地位又は人間関係などの職場内の優位性を利用して、その部下や同僚(場合によっては上司)の就労意欲や就労環境を著しく阻害する結果となるような、不適切な言動、指導または待遇を指します。

パワハラは職場のみで起こるものではありません。先輩・後輩、上下関係や優位関係のある集会などでも起こり得ることを心に留めておきましょう。

パワハラには、攻撃型(人前で怒鳴る、机などを叩いて脅かす)、否定型(仕事・人格・能力を否定する)、強要型(自分のやり方をおしつける、責任をなすりつける)、妨害型(仕事を与えない、必要な情報を与えない)など、さまざまなタイプがあります。



③妊娠、出産などに関するハラスメント及び 育児休業などに関するハラスメント

妊娠、出産などに関するハラスメント及び育児休業などに関するハラスメントとは、妊娠・出産したことなど又は妊娠・出産若しくは育児休業・介護休業などに関する制度などの利用に関する言動又はそれに準ずる言動により、就労環境又は諸活動などの環境を害することを指します。なお、業務分担や安全配慮などの観点から、客観的にみて、業務上の必要性に基づく言動によるものはハラスメントには該当しません。

また、妊娠・出産・育児休業・介護休業などに関する否定的な言動が、ハラスメントの発生の原因や背景になることがあります。このような言動を行わないよう注意しましょう。

④その他のハラスメント

アカデミック・ハラスメント、アルコール・ハラスメントなど、様々な形態のハラスメントが存在しますが、どれも尊厳を侵害する行為として定義し、適切に対処します。

◎ガイドライン適用範囲及び対象



ハラスメントを起こさないために

互いに対等な人間関係であることを認識し、常に相手の人格を尊重するとともに、相手の立場を思いやることは社会生活の最も基本的であり重要な事です。たとえ正当な理由があっても相手を力関係で支配し、精神的に圧迫したり、身体的に傷つけたりするようなことは絶対にしてはならないことです。

行為者本人が意識していない場合でも、たとえそれが冗談や親しみのつもりであっても、相手にハラスメントだと受けとめられることがあります。

私たちは誰でもハラスメントの被害者になる可能性があると同時に、だれでもハラスメントの加害者となる可能性があります。これにも注意しなければなりません。

もしも、相手があなたに「不快だ」という意思表示をしたときは、自分勝手な解釈をせず、相手の意思表示を素直に受け入れ、誠実に対応することが大切です。

「いつ結婚する?」
「お子さんはまだ?」と
不用意に相手に聞くことは
ハラスメントになりえます。
人生計画は人それぞれであり
プライバシーを尊重することは
大切なことです。

